

札幌国際芸術祭2017 開催概要発表

「芸術祭ってなんだ？」

をテーマにみんなでつくる芸術祭を目指す



創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会では、音楽家の大友良英をゲストディレクターに迎え、2017年に開催する札幌国際芸術祭2017 (Sapporo International Art Festival 2017 略称：SIAF2017) へ向けて準備を進めております。この度、テーマや企画体制、2016年度からスタートする継続プロジェクトなどの開催概要を発表しました。

SIAF2017のテーマは「芸術祭ってなんだ？」です。

ゲストディレクター大友良英の考える「祭り」とは、参加する前と後とで世界の見え方が一変してしまうような強烈な場を自分たちの手で作り出すこと。では、ここに「芸術」、「国際」、そして「札幌」が加わるとどうなるのでしょうか。大友良英がゲストディレクター就任以来ずっと考えてきた「芸術祭ってなんだ？」という問いに対する答えを、市民・道民、そしてこの芸術祭に興味を持ってくださる世界中のみなさんとともに考えていきます。

一人ひとりの異なる発想が合わさり、ぶつかり、お互いに反応しあいながら、「札幌ではこうだ!」といえる、札幌ならではの新しい芸術祭を目指します。

これから展開するプロジェクト、そして2017年8月開幕の札幌国際芸術祭に是非、ご期待ください。

札幌国際芸術祭事務局

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市国際芸術祭担当部内

TEL: 011-211-2314 FAX: 011-218-5154 E-MAIL: press@siaf.jp WEB: <http://siaf.jp>

ゲストディレクターからのメッセージ

2回目になる札幌国際芸術祭のテーマは「芸術祭ってなんだ?」です。

今回ゲストディレクターへの就任依頼が来たときに、わたしがまず最初にひっかかり、そして今も考え続けているのが「芸術祭ってなんなのか」ということです。「芸術」ってなんなんでしょう。それが「祭り」になるってどういうことなんでしょう。

震災後、わたしが取り組んできた活動の中でも、とりわけ大きな比重を占めてきたのが、これまでにない新しい「祭り」の創出でした。ここでいう「祭り」とは単に歌ったり踊ったりする場を作ることではなく、いや、それももちろん重要ですが、なにより、参加する前と後とで世界の見え方が一変するくらいの、そんな強烈な場を自分たちの手で作り出すことが、わたしの考える「祭り」です。今回はここに「芸術」や「国際」、そして「札幌」が加わります。さて、どうしていったらいいものか。

そんなことを考えれば考えるほど、これらの問いに対して自分一人で考えて、答えを出すのはもったいないと思うようになりました。市民参加の芸術祭ですから、市民の数だけ

答えがあるはずで、こうした問いに対して、正解がひとつである必要なんてないと思います。正解とか、正論を探すのではなく、実際に手を動かし、誰かと何かを作るところから見えてくる何か、感じる何かであったほうがいい、わたしはそう考えています。100人いたら100通りの発想があり、それらが同じ方向を向かなくなっていく。むしろ向かないことで、ときに相互に反応しあいながらノイズが生まれたり、予想もできないとんでもないモノが生まれたり。そして、それを「豊かさ」として受け入れていく大きな度量の芸術祭でなければ、世界の見え方なんて変えられるはずがありません。

でっかい北の大地を舞台にした始まったばかりの芸術祭です。札幌や北海道の人たちがこれまでつくってきたものや、前回の芸術祭の残してくれたものを生かしつつ、耳をすまし、目をこらし、体で感じつつ、おおらかに、ときにやんちゃに、ここでしかできない「芸術祭」をみなでつくっていきませんか。やれ美術ではこうだ、音楽ではこうだなんてことは二の次にして「札幌ではこうだ!」と言えるような新しい「芸術祭」を目指してみませんか。ここで出会ったみなさんとならそれができそうな、そんな素敵な予感がしています。

札幌国際芸術祭2017 ゲストディレクター 大友 良英

2016年度からスタートする継続プロジェクト

大風呂敷プロジェクト

みなさんから提供していただいた布地を、市内複数個所に設けた風呂敷工場で縫い合わせ、大風呂敷*を制作していきます。縫い上げられた大風呂敷は、芸術祭期間中、市内の様々な場所に展開されSIAF2017を彩ります。市民・道民と一緒につくる芸術祭を象徴するプロジェクトです。

※2011年「プロジェクトFUKUSHIMA!」が立ち上げた「フェスティバルFUKUSHIMA!」は、その後福島から拡がり各地に展開、SIAF2014の特別プログラムとして札幌市北3条広場でも開催されました。この祭りを象徴するのが「大風呂敷」です。



撮影：小牧 寿里

札幌国際芸術祭事務局

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市国際芸術祭担当部内

TEL: 011-211-2314 FAX: 011-218-5154 E-MAIL: press@siaf.jp WEB: <http://siaf.jp>

さっぽろコレクティブ・オーケストラ

中学生・高校生を中心に編成されるオーケストラのメンバーを募集します。楽器の演奏経験の有無は問いません。メンバーが発する楽器の音や声などを実際に組み合わせながら、オーケストラとしての編成、楽曲を自らがたちづくっていきます。複数回のワークショップを重ね、SIAF2017期間中の初演を目指しています。

一緒につくろう芸術祭公募プロジェクト

開催期間中に北海道内の団体、個人が札幌市内で実施する展覧会やイベントなどを広く募集します。市民・道民のみならずと一緒に考え、つくりあげる芸術祭を実現していきたいと考えています。

この他にも、市民参加型のプロジェクトを中心に、SIAF2017へ向けた様々なプロジェクトがスタートします。詳細は決まり次第、随時お知らせします。

まちなか各所が会場に

SIAF2017では、新たに札幌の「まちなか」が会場に加わります。札幌の都市化を支えてきたすすきの、狸小路、そして国の天然記念物である円山原始林を擁する円山エリアなど、札幌が誇る都市の魅力と自然の豊かさを感じられる「まちなか」で作品の展示などを行います。また、これから各会場をどのように使用していくかを様々なプロジェクトの中で話し合っていきます。



撮影：クスミ エリカ

スペシャル・ビッグバンドを結成 ―市民との協働に向けて―

今回、大友良英は、SIAF2017の企画チームをバンドに例え「SIAF2017スペシャル・ビッグバンド」を結成しました。バンドマスターである大友良英の元に様々なバックグラウンドをもつバンドメンバーたちが集まり、多くの人たちを巻き込みながらトークのジャム・セッションを繰り返すようにSIAF2017をつくっていきます。このバンドは盆踊りのお囃子のように機能していく予定です。踊りが始まれば、その中心はバンドから、次第にお囃子に合わせて踊っている一人ひとり、つまり参加するみなさんに移っていきます。このイメージを札幌国際芸術祭の姿に重ね合わせ、これから様々なプロジェクトが始動し、芸術祭の準備が始まります。

札幌国際芸術祭事務局

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市国際芸術祭担当部内

TEL: 011-211-2314 FAX: 011-218-5154 E-MAIL: press@siaf.jp WEB: <http://siaf.jp>

札幌国際芸術祭2017開催概要 (2016.2.16現在)

テーマ 芸術祭ってなんだ？

開催期間 2017年8月6日(日)～2017年10月1日(日)【57日間】

会場 すすきのエリア／狸小路エリア／円山エリア
札幌芸術の森／札幌市資料館／モエレ沼公園 ほか

SIAF2017
スペシャル・ビッグバンド
(企画チーム)

バンドマスター(ゲストディレクター)
大友 良英

調律(エグゼクティブアドバイザー)
沼山 良明

バンドメンバー(参加メンバー)
漆 崇博、上遠野 敏、木野 哲也、坂口 千秋、佐藤 直樹、中島 洋、端 聡、
細川 麻沙美、マユンキキ(マレウレウ)、宮井 和美、藪前 知子(五十音順)

2016年度からスタートする
継続プロジェクト

大風呂敷プロジェクト
さっぽろコレクティブ・オーケストラ
芸術祭はまちなかに出ますプロジェクト
札幌国際芸術祭デザインプロジェクト
一緒につくろう芸術祭公募プロジェクト
SIAF2017 アーティスト・イン・レジデンスプロジェクト

主催 創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会

お問い合わせ 札幌国際芸術祭事務局(担当:宮岡、岡本、山岸)
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市国際芸術祭担当部内
TEL: 011-211-2314 | FAX: 011-218-5154 | E-MAIL: press@siaf.jp